

激動する世界に生きる人々

～コスタリカで学ぶ平和と紛争～

講師

山田真弓 (国連平和大学コスタリカ助教授・博士課程プログラムコーディネーター)

ローレル・ゲイラー (APSPプログラムコーディネーター)

世界で一番新しい国、南スーダン共和国は、国内民族紛争から避難する人々で溢れかえっています。シリアでは国全域が激しい戦闘下におかれ、人々は生きるために決死の覚悟でヨーロッパへと海を渡ります。そうして生き延びた人々は、ヨーロッパへ上陸する「移民」または「難民」と呼ばれ、ヨーロッパをさらに分裂させる「危機」として問題視される傾向にあります。しかし、紛争を「逃れる人々」が真の問題なのでしょうか？

激動する世界のなかで生きる人々がたどり着くのは、ヨーロッパだけではありません。紛争の危機に何度も直面しながらも軍隊を廃止したコスタリカ共和国。そのコスタリカには、国連総会決議を経て生まれた平和大学があります。国連平和大学コスタリカには、紛争を憂い、平和を求める人々が世界中から集まり、平和と紛争に関わる研究、教育、実践に、日夜を問わず、熱心に取り組んでいる人々がいます。このように激動する世界に生きる人々は問いかけます。日本は戦後70年を経て、平和な世界に生きているのでしょうか？それとも未だ紛争の中で生きているのでしょうか？

本セミナーでは、平和と紛争に関わる研究、教育、実践について議論、意見交換をし、平和研究・教育、紛争学、ジェンダーと平和構築、環境の安全保障などについて学べる国連平和大学コスタリカの全額支給奨学金制度についての説明会を行います。

日時: 2016年5月16日(月)
14:50～17:10

場所: 大阪大学人間科学研究科
東館 404教室

司会: 常田夕美子
(大阪大学人間科学研究科・招へい研究員)

予約不要・参加無料

プログラム

- 14:50～ 開会の挨拶 栗本英世(大阪大学人間科学研究科・研究科長)
- 15:00～ 講演 「激動する世界に生きる人々—コスタリカで学ぶ平和と紛争」山田真弓
- 15:50～ コメント「平和と紛争—ジェンダーの視点から」常田夕美子
- 16:00～ 休憩
- 16:10～ 質疑応答
- 16:25～ 「国連平和大学コスタリカの全額支給奨学金制度について」ローレル・ゲイラー
- 16:55～ 質疑応答

講師プロフィール

山田真弓: 現在、国連平和大学コスタリカの助教授、博士課程(平和・紛争学)プログラムコーディネーターとしてコスタリカに在住。2014年6月までUNMISS(国際連合南スーダン共和国ミッション)のRPP(Recovery, Reintegration and Peace Building)オフィサーとして勤務。首都ジュバで武力紛争が勃発し、多数の国連職員および各国大使館要員も避難のため南スーダンを去る中、UNMISSともに残留し、27,000人以上の避難民を国連敷地内で保護救済することに尽力した。UNDP(国連開発計画)カザフスタン、モルディブ、ラオス、ソロモン諸島事務所にも勤務経験がある。英国インペリアルカレッジロンドンにて博士号(開発・環境)を取得。兵庫県神戸市出身。

ローレル・ゲイラー(Laurel Gaylor): 現在、国連平和大学コスタリカのプロジェクトマネジメントオフィスに勤務。アジア、アフリカ、ラテンアメリカにおける能力開発(キャパシティー・ディベロプメント)分野のプログラムを担当し、特にAPS(Asian Peacebuilders Scholarship)のプログラム・マネジメントに尽力している。IOM(国際移住機関)のコンサルタントとしての勤務経験もある。国連平和大学コスタリカで修士号(国際平和学)を取得。カナダ出身。

お問い合わせ先: 大阪大学大学院人間科学研究科 人類学研究室

Tel: 06-6879-8085(月～金) E-mail: anthro@hus.osaka-u.ac.jp

交通アクセスは、右のQRコード、または <http://www.hus.osaka-u.ac.jp/ja/access.html> をご参照ください。

